【本会主催事業等】

第 57 回熱測定討論会

主　催：日本熱測定学会
共　催：日本化学会，日本薬学会，産業技術総合研究所（予定，順不同）
後　援：日本農芸化学会（予定）
協　賛：応用物理学会，関西医薬品協会，化学工学会，環境ホルモン学会，近畿化学協会，高分子学会，資源・素材学会，石油学会，繊維学会，炭素材料学会，TMS 研究会，電気化学会，日本油化学会，日本液晶学会，日本家政学会，日本金属学会，日本結晶学会，日本原子力学会，日本高圧力学会，日本鉱物科学会，日本ゴム協会，日本材料学会，日本質量分析学会，日本食品衛生学会，日本食品科学工学会，日本食品保蔵科学会，日本生物工学会，日本生物物理学会，日本香粧品学会，日本セラミックス協会，日本蛋白質科学会，日本調理科学会，日本鉄鋼協会，日本熱物性学会，日本燃焼学会，日本粘土学会，日本バイオマテリアル学会，日本表面真空学会，日本物理学会，日本分析化学会，日本薬剤学会，日本冷凍空調学会，廃棄物資源循環学会，プラスチック成形加工学会，プラズマ・核融合学会（予定，順不同）

会　期：2021 年 10 月 27 日（水）～ 10 月 29 日（金）
会　場：オンライン（Webex Meetings）
討論会 HP の URL： https://www.netsu.org/2021online/

討論会の構成：特別講演，ミニシンポジウム，一般講演（ライブおよびオンデマンド），受賞講演
また，学生優秀講演賞（オンデマンド講演で希望する学生会員）を設定致します。
セッションのテーマ：一般講演は，(1) 熱測定基盤（測定法・装置を含む），(2) 磁性体・錯体，
(3) 液体・溶液・集合体・界面，(4) 金属・無機固体･セラミックス，
(5) 生体・医薬・食品，(6) 高分子・有機物，(7) エネルギー・環境，
(8) 熱科学の教育に分類してプログラムを編成します。
講演方法：一般講演はライブ講演（講演 13 分+討論 6 分）またはオンデマンド講演とします。ミニシンポジウムでの一般発表はライブ講演（講演 13 分+討論 6 分）のみです。オンデマンド講演ではスライドをアップロードしていただき，希望する方には会期中にオンラインでディスカッションする時間を設けます。学生優秀講演賞の審査を希望する学生はこのディスカッションが必須となります。

発表申込締切：2021 年 8 月 30 日（月）
発表要旨原稿締切：2021 年 9 月 27 日（月）
参加登録締切：2021 年 10 月 18 日（月）
＊発表申込，発表要旨原稿の投稿および参加登録は討論会 HP から行ってください。
＊討論会 HP より参加登録を行い，その際の指示に従って参加登録費をお支払いください。
＊参加登録費のお支払いを確認後に，オンライン討論会 HP へのアクセス方法をご案内いたします。
＊オンライン会議システムへの登録等の都合上，締切後に参加登録されても参加はできません。
ご登録および参加登録費のお支払いは上記締切日までにお願いいたします。

参加登録費：（要旨集（PDF のみ）代含む。）

日本熱測定学会，共催・協賛・後援学協会　会員	6,000 円
日本熱測定学会，共催・協賛・後援学協会　学生会員	2,000 円
非会員　一般	10,000 円
非会員　学生	4,000 円
発表を行わない学生会員（学部生・院生）	1,000 円

＊70 歳以上の正会員のうち，希望される方の参加登録費を無料にいたします。

実行委員会（50 音順）：
実行委員長　阿部 陽香（産総研）・清水 由隆（産総研）
委　　員　神山 匡（近畿大学），川上 亘作（物材機構），齋藤 一弥（筑波大学），齋藤 喜康（産総研），菱田 真史（筑波大学），山村 泰久（筑波大学），劉 芽久哉（産総研）

問合先：日本熱測定学会 事務局　TEL: 03-5821-7120, FAX: 03-5821-7439
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601
E-mail: netsu@mbd.nifty.com，学会 URL: https://www.netsu.org/

第 57 回熱測定討論会チュートリアル
標準状態圧力のとらえ方
― 信頼できる測定データを得るために ―

標準状態圧力は「物質の標準状態」を規定する際に用いられる圧力であり，1982 年以前は標準大気圧 101.325 kPa が用いられていました。ところが 1981 年に国際純正応用化学連合（IUPAC）が，標準状態圧力を 100 kPa とする推奨を行いました。このような混乱の中で，化学熱力学の考え方や測定データについて，私たちはどのようにとらえたらよいのでしょうか。

また，国際度量衡総会にてプランク定数にもとづいた質量の定義改定を含む，SI 基本単位の定義改定が決議され，2019 年 5 月 20 日（World Metrology Day）に発効しました。この改定により，私たちにどのような影響があるのでしょうか。

混乱に惑わされないよう，標準圧力状態の定義について，経緯をリビューしつつ，自然科学と熱力学に触れながら考えていきます。

日　時：2021 年 10 月 29 日（金）13:00-14:50
会　場：オンライン（オンデマンドまたはライブ）
プログラム（敬称略）
13:00-13:05　はじめに　（横国大 / 阪大）一柳 優子
13:05-13:25　「物理量と単位」（筑波大）齋藤 一弥
13:25-13:50　「化学熱力学における標準状態の導入」（阪大）長野 八久
13:50-14:00　休憩
14:00-14:20　「平衡定数と標準反応ギブズエネルギー」（阪大）長野 八久
14:20-14:40　「金属および高温状態における問題」（早大）山口 勉功
14:40-14:50　総合討論

日本熱測定学会
学会賞・奨励賞の選考結果について

2021 年度日本熱測定学会 学会賞および奨励賞について，応募資料を精査し厳正な選考を行った結果，次のように決定しました。詳細については，次号の記事をご覧下さい。

【学会賞】
該当なし

【奨励賞】
受賞者名：撹上 将規 氏（群馬大学）
業績題目：「高分子材料の高次構造がもたらす熱的挙動の解明に関する研究」

受賞者名：長門石 曉 氏（東京大学）
業績題目：「蛋白質の機能制御を指向した熱測定に基づく低分子リガンド開発に関する研究」

日本熱測定学会 第 48 回通常総会

日　時：第 57 回熱測定討論会会期中
会　場：Web 会議
議　事
1. 第 47 回通常総会議事録の承認
2. 2021 年度事業報告
3. 2021 年度収支決算
4. 2022 年度役員
5. 2022 年度事業計画
6. 2022 年度収支予算
7. 会則変更
8. その他（第 58 回討論会開催地など）

奨励賞授与式

この会告をもって総会議案書といたします。会員の方はご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお，ご欠席の方は本誌綴込みの委任状をご郵送いただくか，事務局からご案内する総会案内メールに返信する形で委任メールを必ずお送り下さい。委任先氏名が空欄の場合には議長に委任となります。

【共催・協賛事業】

第 64 回粘土科学討論会

主　催：日本粘土学会
協　賛：日本熱測定学会ほか
会　期：2021 年 9 月 14 日（火）～18 日（土）
開催方式：信州大学 長野（工学）キャンパス
問合先：日本粘土学会 事務局
E-mail: clay-post@bunken.co.jp
URL: http://www.cssj2.org/

第 72 回コロイドおよび界面化学討論会

主　催：日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
協　賛：日本熱測定学会ほか
会　期：2021 年 9 月 15 日（水）～17 日（金）
及び国際シンポジウム：9 月 21 日（火）
開催方式：オンラインでの開催
問合先：第72回コロイドおよび界面化学討論会 事務局
E-mail: secre.dm@colloid.csj.jp
URL: https://confit.atlas.jp/guide/event/colloid2021/top

第 34 回日本吸着学会研究発表会

主　催：日本吸着学会
協　賛：日本熱測定学会ほか
会　期：2021 年 10 月 14 日（木）・15 日（金）
開催方式：オンラインでの開催
問合先：第34回日本吸着学会研究発表会 実行委員会

東北大学材料科学高等研究所，多元物質科学研究所
西原 洋知
E-mail: annualmeeting@j-ad.org，TEL.022-217-5627
URL: https://www.j-ad.org/annual-meeting/

第 42 回日本熱物性シンポジウム

主　催：日本熱物性学会
協　賛：日本熱測定学会ほか
会　期： 2021 年 10 月 25 日（月）～27 日（水）
開催方式：オンラインでの開催
問合先：北海道大学 工学研究院 小林 一道
E-mail: info2021@jstp-symp.org，TEL. 011-706-6429
URL: http://jstp-symp.org/symp2021/index.html

第 48 回炭素材料学会年会

主　催：炭素材料学会
協　賛：日本熱測定学会ほか
会　期：2021 年 12 月 1 日（水）～ 3 日（金）
開催方式：オンラインでの開催
問合先：炭素材料学会ヘルプデスク
E-mail: tanso-desk@bunken.co.jp
URL: http://www.tanso.org/contents/event/conf2021/

日本熱測定学会会長選挙郵便投票のお願い

日本熱測定学会会則第22条に基づき，2021年5月31日を締切として正会員10名以上の連名による次期会長（任期2022・2023年度）候補者の推薦をお願いしておりましたところ，1名の会長候補者の推薦がありました。つきましては，会則第22条により下記の要領で会長選挙郵便投票を実施いたします。本号綴込みの「2022・2023年度会長選挙投票用紙」（はがき）または学生会員の方には事務局より郵送した投票用紙により，ご投票いただきますようお願いいたします。

会長選挙管理委員会
委員長　鳥越 秀峰
小田 究
筑紫 格

記

[1] 会長候補者

(1) 会長候補者氏名（所属）（敬称略）：中澤 康浩（大阪大学 大学院理学研究科 化学専攻）
(2) 推薦者（敬称略，50 音順）：葛西 佑一，神山 匡，川上 亘作，川路 均，齋藤 一弥，西本 真琴，細井 宜伸，三木 久美子，森川 淳子，山室 憲子，米持 悦生*（＊印は推薦代表者）
(3) 会長候補者の抱負
ご推薦を頂き，学会でお世話になった恩返しと考え，お受けさせて頂くことに致しました。見通しの難しいコロナ禍での閉塞状況から，学会活動を活性化させる重要な時期になるかと思います。一方で，コロナ対応で蓄積したノウハウを生かし，活動の効率化や新しい展開をはかっていく工夫も行えればと思います。国際活動の促進や，会員の皆さまのより良い研究環境つくりなど，微力ですが，皆様のご助力を頂きながら進めていく所存です。

[2] 会長選挙実施要領

(1) 選挙権者：正会員および学生会員（会則第22条）
(2) 投票方法：本号綴込み，または学生会員の方には事務局より郵送した「2022・2023年度会長選挙投票用紙」（はがき）にご記入の上，ご投函ください。
(3) 投票締切： 2021年8月31日（火）（当日消印有効）

日本熱測定学会委員選挙郵便投票のお願い

2021 年度委員 28 名のうち 14 名が，2021 年 9 月 30 日をもって任期満了となります。会則により，2022・2023 年度委員の選挙を次の通り実施いたします。

（1）被選挙権者は，すべての正会員です。（会則第 34 条）
（2）選挙権者は，正会員および学生会員です。（会則第 34 条）
（3）2021 年 5 月 31 日に会員からの推薦を締め切りました。幹事会として以下の 15 名を推薦します。（会則第 35 条）
（4）投票は，5 名連記，無記名でお願いいたします。（会則第 34 条）
（5）役員の任期は 2 年で，3 期連続での委員選出は認めないことになっております。（会則第 30 条）
（6）次の 14 名の方々は，2 年目委員として引き続き残られる予定です。（敬称略）
岩瀬 勝則（デンソー），梅澤 直樹（パーキンエルマー），織田 昌幸（京都府大），大波多 友規（福岡大），
葛西 佑一（日立ハイテクサイエンス），神崎 亮（鹿児島大），島本 茂（近畿大），辰巳 創一（京都工繊大），
鳥越 秀峰（東京理科大），長西 敦子（島津製作所），野口 真理子（日本大），菱田 真史（筑波大），
細井 宜伸（リガク），山下 智史（大阪大）

投票方法：正会員より 5 名を選んで，本誌綴込みの「委員選挙投票用紙」（はがき）にご記入の上，学会事務局までご郵送下さい。推薦候補者に投票される場合は候補者番号をお書き下さい。推薦候補者以外の正会員に投票される場合は，その方の氏名と所属をご記入下さい。

投票締切：2021 年 8 月 31 日（火）（当日消印有効）

幹事会からの推薦候補（敬称略，五十音順）

No.	候補者氏名	（所属）	地区	分野
1	阿部 陽香	（産業技術総合研究所）	関東	計測標準
2	飯島 美夏	（青森県立保健大）	東北	高分子
3	池内 賢朗	（アドバンス理工）	関東	機器
4	伊里 友一朗	（横浜国立大）	関東	安全工学
5	大高 泰靖	（千葉科学大）	関東	医薬品・タンパク質
6	小川 英生	（東京電機大）	関東	溶液
7	加藤 勝美	（福岡大）	九州	化学安全工学・火薬学
8	川田 友紀	（ティー・エー・インスツルメント・ジャパン）	近畿	機器
9	酒井 伸也	（DKSH ジャパン）	関東	機器
10	高井 茂臣	（京都大学）	近畿	無機・セラミックス
11	高橋 仁徳	（北海道大学）	北海道	分子性材料・金属錯体
12	塚本 修	（ネッチ・ジャパン）	関東	機器
13	中野 元裕	（大阪大学）	近畿	磁性体
14	橋本 拓也	（日本大学）	関東	無機
15	廣瀬 雅子	（スペクトリス）	近畿	機器

日本熱測定学会会長選挙ならびに委員選挙に関する会則改正案（第 48 回通常総会議案詳細）

提案理由

現在，会長選挙ならびに委員選挙の投票方法は「郵便投票」で行うと規定されており，正会員ならびに学生会員の皆様には学会誌の綴込み葉書を用いてご投票いただいておりました。しかし，2020 年度より学生会員に対しては学会誌を冊子体ではなく PDF で配布することになり，綴込み葉書を用いる投票を学生会員が行えない状態になっております。この状況を是正するため，投票方法が「郵便投票」に限定されている本会則を改正し，オンライン投票も可能にいたします。また，委員選挙については無記名での郵便投票と規定されておりますが，オンライン投票での二重投票を防ぐために，無記名の条件を削除させていただきます。オンライン投票の場合は当面は会員番号とメールアドレスを入力してもらうことで二重投票を防ぐとともに，匿名性に関する問題は，事務局において投票内容の匿名性を確保する旨を，会長選挙ならびに委員選挙の内規とすることで対応いたします。今後，時代や技術に応じてオンライン投票の方法が変化する場合においても，匿名性を確保した形で実施してまいります。これらの改正は，将来的に学会誌が PDF 版に移行する場合においても，正会員を含めて適応できる形となっております。会員の皆様にはぜひご理解を賜り，ご了承いただけますようお願いいたします。（学会ホームページの会員専用のページにも公開しております。）

会則改正案

現行の会則	改正案
第 6 章 第 22 条　会長は，正会員および学生会員の郵便投票により正会員の中から選出する。正会員は・・・	第 6 章 第 22 条　会長は，正会員および学生会員の投票により正会員の中から選出する。正会員は・・・
第 9 章 第 34 条　投票は正会員および学生会員の郵便投票により正会員中より 5 名連記，無記名で行う。	第 9 章 第 34 条　投票は正会員および学生会員の投票により正会員中より 5 名連記で行う。

補足

本年度の投票に関しては学生会員には投票葉書を郵送して実施し，来年度からオンラインによる投票ができるようにいたします。正会員の来年度以降の投票は，綴込み葉書またはオンライン投票のどちらかで行っていただくことになります。